

東日本大震災を憶えての祈り

二〇一二年三月一日（日）午後二時

日本聖公会東京教区

聖アンデレ主教座聖堂

黙 想 午後二時

祈 り 午後二時三〇分

司 式 日本聖公会東京教区

主教 アンデレ 大畑 喜道

お 話 聖マーガレット教会 信徒 植松 功

奏 楽 聖アンデレ教会オーガニスト 日高 淑子

奉 唱 日本聖公会東京教区 教区聖歌隊

指揮 那須 輝彦

黙もく 想そう

オルガンは奏楽を始める。
会衆は席に着き黙想する。

オルガン奏楽そうがく

沈黙

詩しの朗読ろうどく

和合 亮一

『詩ノ黙礼』より

沈黙

聖歌隊奉唱

聖歌 第四九九番

一 さやかな光

深まる思い

色づく木々に

いのちの恵み

二 主より始まる

ともに苦しみ

愛の心は

いのちを尽くす

三 燃える心で

身を焼き尽くす

惜しまず与え

愛はあふれる

四 多くの人を

愛のしるしは

豊かに満たす

弱さの中に

五 痛み苦しむ

み神の愛を

十字架のイエスは

世界に示す

六 民のうめきに

傷のみ腕は

心を砕き

世界を包む

沈黙

前奏^{ぜんそう}

東日本大震災を憶えての祈り^{ひがしにほんだいにしんさいをおぼえていの}

会衆は起立し、次の聖歌（式文二三頁）を歌う。
司式者団はこの聖歌の間に入堂し、定位置に付く。

聖歌^{せい}
第二番^{だいばん}

司式者は次の言葉を言う。

招きまねの言葉ことば

わたしたちは今日きょう、東日本大震災ひがしにほんだいしんさいにより世よを去さった方々かたがた、また今いまなお悲しみと苦しみくるの
うちにある方々かたがたを憶えおぼ、わたしたちがキリストにあつての信しん頼らいと確かく信しんを新あらたにし、とも
にキリストにおいて一ひとつとなるように祈いのるために集つどい、キリストにより父ちちなる神かみに賛美さんび
をささげます。

司式者かみ 神かみよ、速すみやかにわたしたちを救すくい出だし

会衆しゆ 主しゆよ、わたしたちを助たすけてください

(詩七〇ノ二)

続いて次の祈りを唱える。

祈りいの

— いのちの旅たび —

わたしたちの兄弟きょうだい、イエスよ、あなたはわたしたちの歩む道あゆみちを定められ、時ときとして、わたしたちの行きたくないところ、理解りかいできないところへ導みちびかれます。

恐れと危険おそきけんに充ち満ちた道のりみちでわたしたちに勇気ゆうきを与え、恵みの内めぐうちにともに動いてください。

孤独こどくな道のりみちでわたしたちに慈愛じあいに満ちた出会いであいを与え、恵みの内めぐうちにともに動いてください。

ともに働くことはたらの求めもとられる道のりみちでわたしたちに良きともがらよあたを与え、恵みの内めぐうちにともに動いてください。

暗い中くらなかで姿すがたの见えない泣き叫ぶ声なきさけこえを聴く旅たびの道のりみちで、ともに旅するものの安堵あんどする声こえを聴くために、暗闇くらやみの中なかにあつてその姿すがたを見いだす力ちからをわたしたちに与え、恵みの内めぐうちにともに動いてください。

重荷^{おも}にうちひしがれては軽^{かろ}やかに旅^{たび}することはできません。わたしたちに楽^{たの}しむ心^{こころ}を与^{あた}え、恵^{めぐ}みの内^{うち}にともに動^{うご}いてください。

取^とり巻^まく人^{ひと}びとから学^{まな}ぶ謙遜^{けんそん}の心^{こころ}をわたしたちに与^{あた}え、恵^{めぐ}みの内^{うち}にともに動^{うご}いてくださ
い。

速^{すみ}やかに動^{うご}かなければならない道^{みち}のりでわたしたちに決断^{けつだん}力^{りよく}を与^{あた}え、恵^{めぐ}みの内^{うち}にともに動^{うご}
いてください。

体^{からだ}を伸^のばし、休^{きゅう}息^{そく}し、心^こ地^ちよく過^すごすために、ゆるやかなときをわたしたちに与^{あた}え、恵^{めぐ}
みの内^{うち}にともに動^{うご}いてください。

わたしたちに愛^{あい}をもつて与^{あた}え、受^うける心^{こころ}を与^{あた}え、恵^{めぐ}みの内^{うち}にともに動^{うご}いてください。

あなたの存在^{そんざい}を知^しることのできないときさえも、わたしたちと共^{とも}におられ、恵^{めぐ}みの内^{うち}に
ともに動^{うご}いてください。

わたしたちを流れゆく旅に導き、ついにその道筋にこそあなたがおられ、あなたのおられるところが帰る家であることを悟らせてください。

わたしたちを祝し、導き、愛し、いのちの良き知らせをもたらす家にお連れください。

(アイオナ共同体 Kathy Galloway)

沈黙

司式者 今、わたしたちがあなたのみ前に覚える一人ひとりに目を留めてください
主イエス・キリストによって アーメン

沈黙

み 言 葉

司式者 聖書のみ言葉を聞きましょう

一同、着席する。

旧約聖書

朗読者 旧約聖書はイザヤ書第二十五章七節から

主はこの山で

すべての民の顔を包んでいた布と

すべての国を覆っていた布を滅ぼし

死を永久に滅ぼしてくださる。

主なる神は、すべての顔から涙をぬぐい

御自分の民の恥を

地上からぬぐい去ってくださる。

これは主が語られたことである。

その日には、人は言う。

見よ、この方こそわたしたちの神。

わたしたちは待ち望んでいた。

この方がわたしたちを救ってくださる。

この方こそわたしたちが待ち望んでいた主。

その救いを祝って喜び躍ろう。

朗読者 旧約聖書を終わります

一同立つ。

次の詩編を歌いまたは唱える。

詩編 第一一六編

一 わたしは神を愛する＝ 主はわたしの声、わたしの願いを聞き
二 日々、祈り求めるわたしに＝ 耳を傾けてくださった
三 死の縄目とよみの苦しみが迫り＝ 悩みと悲しみの中にあつたとき
四 わたしは主の名を求めて叫んだ＝ 「主よ、わたしを助けてください」
五 主は恵みと慈しみに満ち＝ わたしたちの神は隣れみ深い
六 主は素朴な人の支え＝ わたしが衰えたとき救ってくださった
七 わたしの魂よ、平安に憩え＝ 主は恵みを注いでくださった
栄光は＝ 父と子と聖霊に
初めのように、今も＝ 世々に限りなく アーメン

一同着席する。

使徒書

朗読者 使徒書はエフエソの信徒への手紙 三章一六節から

どうか、御父が、その豊かな栄光に従い、その霊により、力をもつてあなたがたの内なる人を強めて、信仰によつてあなたがたの心の内にキリストを住まわせ、あなたがたを愛に根ざし、愛にしっかりと立つ者としてくださるよう。また、あなたがたがすべての聖なる者たちと共に、キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解し、人の知識をはるかに超えるこの愛を知るようになり、そしてついには、神の満ちあふれる豊かさのすべてにあずかり、それによつて満たされるように。

わたしたちの内に働く御力によつて、わたしたちが求めたり、思ったりすることすべてを、はるかに超えてかなえることのおできになる方に、教会により、また、キリスト・イエスによつて、栄光が世々限りなくありますように、アーメン。
朗読者 使徒書を終わります。

沈黙

ここで教会の鐘を一分間鳴らし続ける。その間、一同黙祷する。

聖歌隊奉唱 詩編 第六一編

- 一 神よ、わたしの叫びを聞き＝ 祈りに心を留めてください
 - 二 心が弱り果てるとき、わたしは地の果てからあなたに叫びを上げる＝ 高い岩の上
にわたしを導いてください
 - 三 あなたはわたしの逃れ場＝ 敵から守る堅固なやぐら
 - 四 いつまでもわたしはあなたの幕屋に住み＝ み翼の陰に宿る
 - 五 神よ、あなたはわたしの誓いを受け入れ＝ あなたの名を畏れる者に譲りを与える
 - 六 王に長い命の日々を＝ 幾世代にも及ぶ日々を与えてください
 - 七 神の面前にとこしえに、彼を王座に着かせ＝ 慈しみとまことで守ってください
 - 八 永遠にみ名をほめたたえ＝ わたしは日ごとに誓いを果たす
- 栄光は＝ 父と子と聖霊に
- 初めのように、今も＝ 世々に限りなく アーメン

一同立ち、福音書の方を向く。

福音書

朗読者 主は皆さんとともに

会衆 またあなたとともに

朗読者 聖ヨハネによる福音書第一十六章二二節以下に記された主イエス・キリストの

福音。主に栄光

会衆 主に栄光がありますように

ところで、今はあなたがたも、悲しんでいる。しかし、わたしは再びあなたがたと会い、あなたがたは心から喜ぶことになる。その喜びをあなたがたから奪い去る者はいない。その日には、あなたがたはもはや、わたしに何も尋ねない。はつきり言っておく。あなたがたがわたしの名によって何かを父に願うならば、父はお与えになる。今までは、あなたがたはわたしの名によっては何も願わなかった。願いなさい。そうすれば与えられ、あなたがたは喜びで満たされる。」

朗読者 主に感謝

会衆 主に感謝します

沈黙
会衆は着席する。

お話^{はな}し

アンセム 聖歌隊奉唱

聖歌 第五二七番

一 傷^{きず}ついた人の

祈^{いの}りに応^{こた}えて

信^{しん}じて疑^{うたが}う

迷^{まよ}い除^{のぞ}く恵^{めぐ}み

十^{じゅう}字^じ架^かにかかり

傷^{きず}ついた み手^てで

われらの命^{いのち}を

はげまし支^{ささ}える

二 消^きえることの無い

罪^{つみ} 咎^{とが}の思^{おも}い

見^みえない明日^{あす}への

恐^{おそ}れに苦^{くる}しむ

三

愛は変わらずに

心の痛みに

助けを求めて

救い主の手は

身と心すべて

破れた平和を

弱さに向かい合い

いつでもよりそう

集まる人びと

ふれあいのうちに

すこやかにもどし

いやす聖霊よ

次の嘆願を唱える。

嘆願 たん がん

「東日本大震災のための嘆願」
ひがしにほんだいいしんさい

司式者 くろ 苦しみ悩みのうちにある人びとを常に支えてくださる主よ、東日本大震災のす

べての逝去者と被災者を覚えて祈ります
せいきよ ひさいしや おぼ いの

会衆 しゅ 主よ、わたしたちの祈りをお聞きください

司式者 だいしんさい 大震災によつて世を去つたすべての人（ことに――）が、慈しみ深い主のみ腕

に抱かれ、憩うことができますように
だ いこ

会衆 しゅ 主よ、わたしたちの祈りをお聞きください

司式者 じしん 地震と津波、放射能汚染により、愛する人を失い悲しみと孤独のうちにある人

びと、離散させられた人びと、今もなお弱い立場におかれている多くの人びと
りさん ひと いま よわ たちば おお ひと

（ことに――）を、その傍らに立ってお支えください
かたわ た ささ

会衆 しゅ 主よ、わたしたちの祈りをお聞きください

司式者 震災復興のためのすべての働きが、痛みの多いこの地上に希望をもたらすもの

となりますように

会衆 主よ、わたしたちの祈りをお聞きください

司式者 慰めの主よ、わたしたちがこれらのことを憶え続け、困難を負って生きる人々

と共に、主のみ跡に従って歩むことができますように

一同 神よ、これらの祈りを主イエス・キリストのみ名によってお願いいたします

アーメン

司式者 主よ、憐れみをお与えください

会衆 キリストよ、憐れみをお与えください

司式者 主よ、憐れみをお与えください

次に一同、主の祈りを歌いまたは唱える。

天^{てん}におられるわたしたちの父^{ちち}よ

み名^なが聖^{せい}とされますように。

み国^{くに}がきますように。

みこころが天^{てん}に行^{おこ}なわれるとおり地^ちにも行^{おこな}われますように。

わたしたちの日^ひごとの糧^{かて}を今日^{きょう}もお与^{あた}えください。

わたしたちの罪^{つみ}をおゆるしてください。わたしたちも人^{ひと}をゆるします。

わたしたちを誘惑^{ゆうわく}におちいらせず、

悪^{あく}からお救^{すく}ください。

国^{くに}と力^{ちから}と栄光^{えいこう}は、永遠^{えいえん}にあなたのものです アーメン

司式者^{ししきしや} 主^{しゅ}よ、あなたはわたしの寄^よりどころ、わたしはあなたを慕^{した}う

会衆^{かいしゆ} 主^{しゅ}はわたしの岩^{いわ}、わたしの砦^{とりで}、わたしの救^{すく}い

司式者^{ししきしや} 悩^{なや}みの中^{なか}からわたしは主^{しゅ}を呼^よび

会衆^{かいしゆ} わたしの神^{かみ}に向^むかって叫^{さけ}びを^あ上げる

司式者 主はその住まいでわたしの声を聞き

会衆 わたしの叫びはその耳に届く
(詩一八)

司式者 主よ、わたしたちのいのちを新たにしてください

会衆 あなたのうちにあつて、民が喜ぶために

司式者 主よ、あなたの慈しみを示し

会衆 わたしたちに救いを与えてください
(詩八五)

司式者は次の祈りを唱える。

司式者 祈りましょう

あわれみ深い神さま、

あなたはどんな時にもわたしたちから離れることなく、喜びや悲しみを共にして下さいます。

今回の大震災によって苦しむ人々のためにあなたの助けと励ましを与えて下さい。

わたしたちもその人たちのためにもてるものを分かち合い、祈り続けます。
そして、一日も早く、安心して暮らせる日が来ますように。
また、この震災で亡くなられたすべての人々があなたのもとで安らかに憩うことができ
ますように。

母であるマリアさま、どうかわたしたちのためにお祈り下さい。

主イエス・キリストによって。アーメン

(ローマ・カトリック麹町教会による震災被災者のための祈り)

祝 福

司式者 いにしえの神は難を避ける場所、とこしえの御腕がそれを支える(申命記三三ノ二七)
会衆 主をたたえよ。主はわたしたちの力、わたしたちの救い

祝しゅく 祷とう

司式者は次の言葉で会衆を祝福する。

主しゅがあなたを祝福しゅくふくし、あなたを守まもられるように。
主しゅが御顔みかおを向むけてあなたを照てらし、あなたに恵めぐみを与あたえられるように。
主しゅが御顔みかおをあなたに向むけて、あなたに平安へいあんを賜たまわるように。アーメン

一同起立して次の聖歌（式文二四頁）を歌う。
司式者団はこの聖歌の間に退堂する。

聖せい 歌か 第五一二番だいごにふばん

つ　く　り　ぬ　し　か　み　は　す　—　べ　て　—　の　み　な　も　と　あ
こ　の　よ　を　さ　か　と　き　は　—　え　あ　—　る　ゆ　う　べ　と　と
い　と　た　か　き　か　み　よ　わ　—　れ　ら　—　の　ほ　め　う　た　主

さ　よ　り　ゆ　う　ま　で　わ　れ　ら　を　み　ち　び　く
わ　な　る　さ　か　え　と　ど　き　ら　ま　と　せ　た　ま　え　　アー　メン
イエスの　かな　に　て　き　と　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　

聖^{せい}歌^か 第二^{だい}一^{いち}番^{ばん}

一　造^{つく}り主^{ぬし} 神^{かみ}は

すべての源^{みなもと}

朝^{あさ}より夕^{ゆう}まで

われらを導^{みちび}く

二　この世^よを去^さるとき

栄^はえある夕^{ゆう}べと

永^と遠^わなる栄^{さか}えを

とどまらせたまえ

三　いと高^{たか}き神^{かみ}よ

われらのほめ歌^{うた}

主^{しゅ}イエスの　み名^なにて

聞^ききとどけたまえ

聖^{せい}歌^か第五^{だい}二^に番^{ばん}

一
み使^{つか}いのたたえ歌^{うた}は

海^{うみ} 山^{やま}に満^みちあふれ

天^{あま}つ国^{くに}のさきわいを

夜^よも日^ひも絶^たえずしめす

(おりかえし)

なぐさめの声^{こえ}こそ 旅^{たび}路^じ行^ゆく人^{ひと}の力^{ちから}

二
夕^{ゆう}べの鐘^{かね} 鳴^なるごとく

イエスの み声^{こえ}ひびきて

重^{おも}荷^にを負^おえる人^{ひと}々^{びと}

みもとにぞ集^{つど}い行^いく

(おりかえし)

三
「疲^{つか}れし者^{もの}よ来^きたれ」と

呼^よびたもう声^{こえ}を聞^きき

けわしき闇^{やみ}路^じおそれず

喜^{よろこ}び進^{すす}みてゆかん

(おりかえし)

四
み使^{つか}いのうとう歌^{うた}を

絶^たえせず聞^きかせたまえ

世^よの悩^{なや}みも晴^はれ渡^{わた}り

天^{あま}つ日^ひ 輝^{かがや}くまで

(おりかえし)

1 み つか い の た た え う た は う み や ま に
2 ゆ べ の か た な る ご と く イ ス の た ま こ
3 「つ か れ の も の う と き た を た え せ ず き
4 み っ か い の う と き た を た え せ ず き

み ち あ ふ れ あ ま つ く に の さ き わ い を
え ひ び き て お も し お る ひ と び と
こ え せ た ま え け 世 の な は れ た ず
か せ た ま え 世 の な は れ た ず

よ も 日 も た え ず し め す
み も と に ぞ つ ど い ゆ く
よ ろ こ び す み て ゆ か
あ ま つ 日 か が や く ま で

こ え こ そ た び じ ゆ く ひ と の ち か ら

Hark! hark, my soul! angelic songs are swelling
Frederick William Faber (1814-1863)

PILGRIMS
Henry Thomas Smart (1813-1879)

